



天井裏に潜む事故

今回のトピックス

天井裏からの落下事故

2022年6月13日、広島市にてホールの天井裏で点検作業をしていた男性が17mの高さから転落、死亡する事故が発生しました。

今回の事故では**安全対策が不十分**であった可能性が高いです。
※6.75メートルを超える高さで作業する場合はフルハーネス型の使用が義務づけられています。



第28回配信のハリナレで天井を踏み抜いた事故を取り扱っていたけど、他社でも似たような事故が起きたんだね。天井裏ってそんなに危ないの？

天井板は軽量で脆弱な材質でできている為、**床としての役をなしません**。天井裏での作業は天井板が無い場合と同様、**高所で作業している**という意識を持って作業する必要があるのです。



再確認

職場の危険防止措置は十分ですか？

- ・ 6.75mを超える高さの場合、必ず墜落制止用器具の使用などの危険防止措置が励行していますか？
- ・ 天井裏にフルハーネス型の墜落制止用器具をかける場所がありますか？
- ない場合後付けするだけの強度はありますか？
- ・ **少しでも不安があればMGRに相談しましょう！**



きちんと揃っていますか？

代表的な保護具一覧

-保護帽-

作業現場の環境により着用が義務付けられる。用途により飛来・落下物用、墜落時保護用、電気用などがある。

-点検-

使用前に亀裂、ひびなど異常がないか点検する。

-墜落制止用器具（安全帯）-

フルハーネス型と胴ベルト型の2種類。6.75m以上の高さではフルハーネス型の着用が必要。

-点検-

紫外線や摩耗による劣化が無い点検。

-防護手袋-

刃物、熱、電気、科学物質による切創や皮膚障害から手や手首上部を守る。用途に適したものを使用する。

-点検-

穴や傷、変形などが無い点検する。必要な性能が発揮されなくなったら廃棄する。



他にも防護服、安全靴など保護具はいろいろあります！

皆さんの安全のため、次のことに注意してみましょう。

- ・現場に**必要な保護具は揃っていますか？**
- ・保護具に**欠陥はありませんか？**
- ・正しい使い方をしてますか？
- ・**点検**はしていますか？